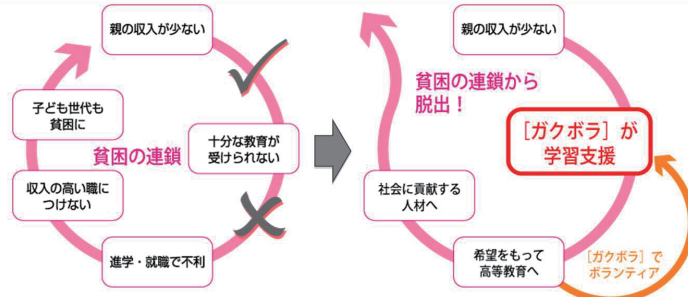


すべての子どもが夢や希望を持てる社会の実現に向けて

子どもたちに将来への希望を与え、社会に貢献する人材を輩出しています



「お金がないから」と将来をあきらめている子どもたちに、大学生ボランティアが無償で高校受験対策を行うことで貧困の連鎖から抜け出すサポートをし、社会に貢献する人材を輩出する。



子どもの貧困は大きな社会課題です

日本の子どもの貧困率は15.7%(前調査から+1.5%)

OECD加盟国の子どもの貧困率の平均は12.4%です。貧困層に当たる子どもたちは、一人114万円/年で暮らす生活です。またひとり親家庭の子どもの貧困率は50.8%となっています。

教育格差—保護者の経済状況が子どもの成績や進学に影響

日本では教育にお金がかかるために、保護者が裕福だと子どもの学力が高く、保護者の収入が低いと子どもの学力も低い傾向にあります。

例) 算数の学力テスト：年収1,000万円以上 平均66点、年収500万円以下 42点。

1年間で142人の子どもが虐待で亡くなっています

児童虐待のあった家庭のうち、「生活保護」「所得税非課税」などの対象の低所得世帯は約65%です。また、児童養護施設に入所する児童の6割が虐待を受けた経験があります。

少年院における新規収容者のうち、28.8%が貧困層

犯罪が重くなるほど、家庭の貧困率も上がる傾向にあります。

行政・民間両方のサポートを受けづらい子どもたちが対象です



主な活動実績

低所得層・ひとり親の子ども



**無料高校受験対策講座「タダゼミ」等
受講者総数約120名!合格率90%以上!**

[タダゼミ]は現在都内二箇所毎週日曜日に開催しており、37名の子どもたちが受講しています。勉強は年齢の近い大学生ボランティアが教えるので、子どもたちとの信頼関係も築きやすい環境になっています。

東日本大震災



**岩手・宮城・福島
参加者102人、公立高校合格率98%!(進学率100%)**

教育委員会などと協力しながら、岩手・宮城・福島の中学生向け無料高校受験指導を5カ所で行いました。その他に被災した子どもの心のケアの小冊子を製作し、自治体や支援団体に約4,500部配布しました。

外国にルーツを持つ子ども



**東京都中央区との協働事業
28回開催、125名参加!**

東京都中央区との協働事業で、毎月2,3回中央区で暮らす外国にルーツを持つ小中学生に学習支援を行っています。日本に来て間もない小学生に対しては、専門知識を持ったボランティアスタッフが日本語指導も行っています。

児童養護・母子生活支援施設

**企業などからのご支援をいただいて、
都内10施設、合計120回開催!**

進学率の低い児童養護施設や母子生活支援施設へと大学生ボランティアが行き、学習支援を行うことで、一つのロールモデルとなり、高校や大学への進学意欲向上にもつながっています。また、他の子どもたちが当たり前のようにしている社会体験活動の機会を提供することで、自己肯定感向上にも役立っています。



小学校・地域センター



「楽習」プログラムを78回開催!約3,000人参加!

有料の学習支援サービスを受けられない子どもの多くは、小学生の時に勉強につまづき苦手意識をもってしまいう傾向があります。このプログラムでは小学校などと協力し、「楽しく学ぶ」をテーマに学ぶ楽しさを教え、勉強への苦手意識を持つ子どもを少なくするようにしています。

無料キャリア教育イベント



**「丸の内キッズジャンボリー」出展!
来場者約2,000人/日!**

毎年、夏休み国際フォーラムにて開催される「丸の内キッズジャンボリー」で、企業や他のNPOとともに子ども向けのワークショップを行い、キャリア教育や体験活動の提供を行っています。